

「みずほ変動金利定期預金」の取扱開始について

株式会社みずほ銀行（頭取：杉山清次）は、ますます多様化するお客さまの運用ニーズをふまえ、2007 年 11 月 5 日（月）より変動金利定期預金の取り扱いを開始いたします。

「みずほ変動金利定期預金」は期間 3 年の定期預金ですが、適用金利が預入時の金利で 3 年間固定されるのではなく、6 ヶ月ごとに見直されるという定期預金です。

従来の固定金利の定期預金は、お預入いただいた時点での利率が預入期間中適用されるため、金利が上昇した場合でも、預入当初時の金利が満期まで適用されます。一方、今般取扱を開始する「みずほ変動金利定期預金」では、預入期間中 6 ヶ月ごとに、その時点での 6 ヶ月もの固定金利定期預金の金利を指標金利とし、その金利に一定の利率（スプレッド α ）を加えたものを適用金利とする見直しが行われるため、預入期間中に金利が上昇した場合、その金利上昇メリットを享受いただくことができます。ただし、金利情勢の変化によっては、同日にお申し込みいただいた場合の固定金利の定期預金よりも低い運用結果となる場合があります。

（参考）変動金利定期預金とスーパー定期 3 年の商品性比較

	変動金利定期預金	従来の固定金利定期(スーパー定期(3 年))
預入期間	3 年	3 年
適用金利	預入後 6 ヶ月ごとに利率変動	預入時に利率確定
	6 ヶ月ごとの見直し 「指標金利(*)」+「スプレッド α 」	3 年間固定

* 指標金利：当初預入時もしくは金利見直し日における、6 ヶ月もの固定金利定期預金の金利

みずほ銀行は、今後もお客さまのさまざまなニーズに可能な限りお応えすべく、商品ラインアップの充実に努めてまいります。

以上